

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道499号 <small>さおのうら</small> 竿浦拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県長崎市江川町 至：長崎県長崎市平山町	延長	2.5km		
事業概要	一般国道499号は長崎市と鹿児島県阿久根市を結び、広域交流の促進及び沿道地域の連携強化を図る幹線道路であり、また災害時の緊急輸送道路としても重要な路線である。竿浦拡幅は、長崎半島を縦断する区間の一部で延長2.5kmの2車線道路であるが、慢性的な交通渋滞を引き起こしていることから交通渋滞緩和及び安全な歩行区間を確保するため、4車線化及び両側歩道を整備するものである。				
H3年度事業化	H2年度都市計画決定 (H年度変更)	H3年度用地着手	H6年度工事着手		
全体事業費	120億円	事業進捗率	68%	供用済延長	-km
計画交通量	25,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.1 (残事業) 7.5	総費用 (残事業)/事業全体 35/128億円 (事業費：33/126億円 維持管理費：2/2億円)	総便益 (残事業)/事業全体 264/264億円 (走行時間短縮便益：230/230億円 走行費用減少便益：30/30億円 交通事故減少便益：4/4億円)	基準年 平成17年	
感度分析の結果	残事業（事業全体） 交通量変動：B/C=8.2(2.3)(交通量+10%) 事業費変動：B/C=6.8(1.9)(事業費+10%) B/C=6.7(1.9)(交通量-10%) B/C=8.2(2.3)(事業費-10%)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（旅行速度の改善が期待される） 国土・地域ネットワークの構築（中心都市へのアクセス向上が見込まれる） 安全な生活環境の確保（歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される）他3項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	一般国道499号は、交通混雑の緩和や災害時の緊急輸送道路として重要な路線であるため、長崎市及び周辺5町で構成される一般国道499号道路整備促進協議会より早期整備の要望（平成16年5月）を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿道の宅地造成が進み交通渋滞が激しくなり、整備の必要性が増大している。また、平成17年1月に長崎市及び6町が合併し新市となり、幹線道路である本路線の整備は重要である。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成16年度末までの事業費ベースの進捗率は68%であり、用地面積ベースの進捗率は86%である。交通渋滞の一因であるバスベイは暫定も含め整備済みであり、歩道については一部供用済みである。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	家屋移転に伴う交渉の難航（代替地）や買い取り請求への対応などによる虫食いの用地確保のため、完成断面での整備が進んでいない。未解決の用地については、引き続き条件などを整理し用地取得を進め、残事業は平成21年度完成を目標に整備を行う。				
施設の構造や工法の変更等	特になし				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性及び重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。